

傾斜板点検整備  
(新山科浄水場)

特 記 仕 様 書

京 都 市 上 下 水 道 局



## 1 共通事項

本特記仕様書に記載のない事項については、令和5年12月版の水道部施設課作業一般仕様書（委託）による。

なお、作業一般仕様書（委託）は水道部施設課で配布する。

## 2 作業概要

本作業は、新山科浄水場横流式傾斜板沈でん池（6池）に設置されている傾斜板点検整備及び沈でん池等清掃を行うものである。

## 3 作業場所

京都市山科区勸修寺丸山町1番地 新山科浄水場

## 4 完成期限

令和7年3月14日とする。

## 5 作業範囲

傾斜板点検整備及び沈でん池等清掃の作業範囲は下表による。

傾斜板点検整備面積数量表

（単位：m<sup>2</sup>）

作業場所	3号、4号 沈でん池	5号、6号 沈でん池	7号、8号 沈でん池	合計
傾斜板	12,630	37,888	37,888	88,406
合計	12,630	37,888	37,888	88,406

沈でん池等清掃数量表

（単位：m<sup>2</sup>）

作業場所	3号、4号 沈でん池 計	5号、6号 沈でん池 計	7号、8号 沈でん池 計	合計
原水流入渠	478	476	476	1,430
フロック形成池	4,052	4,050	4,050	12,152
第一ちんでん帯	2,778	2,458	2,202	7,438
第二ちんでん帯	4,774	4,906	4,676	14,356
沈でん池流出帯	1,378	1,500	1,500	4,378
合計	13,460	13,390	12,904	39,754

## 6 作業内容

### (1) 傾斜板点検整備

#### ア 傾斜板の清掃（ホースによる水洗）

清掃時には、傾斜板（樹脂製）の厚みが薄いため、場内給水の水圧（約0.3MPa）により傾斜板等を破損しないよう注意して清掃を行うこと。

#### イ 外観検査の実施

本体吊りボルト、フレーム材、吊り材、傾斜板及び構成部材の外観検査を実施すること。

また、各構成部材に異状、破損が確認された場合、速やかに監督員に連絡すること。

ウ 修理及び取替

傾斜板、プロテクター、板取付けビス等不良箇所の修理及び取替を行うこと。

また、傾斜板の取替を行った箇所、フレームの修理状況等については報告書を提出すること。

破損傾斜板取替予定数量 50枚

傾斜板購入予定数量 100枚（取付け用付属品一式含む）

取替にあたっては局が支給する過年度在庫品を優先的に使用するものとし、在庫品が無くなった後に本委託での購入品を使用すること。

傾斜板及び取付け用付属品は受注者が用意し、余った傾斜板は監督員が指示する場所に納入すること。

なお、取替予定数量に達しなかった場合であっても設計変更の対象としない。

エ 購入する傾斜板の寸法及び材質は下記のとおりとする。

寸法：1000mm×1000mm×厚1mm、材質：ポリ塩化ビニル樹脂製

オ 取替作業で発生した使用済みの傾斜板は、産業廃棄物「廃プラスチック類」として適正に処理すること。

詳細は「建設副産物の適正処理について」（別紙1）を参照のこと。

(2) 沈でん池等清掃

ア 沈でん池の池底や壁及び機器類に堆積した泥類や汚砂等を丁寧に洗い流すこと。

なお、屋外消火栓（φ50）に繋いだ洗浄用ホースを池内に下す場合は、洗浄用ホースの自重及びホース内の水重が屋外消火栓カップリング部に直接かからないようにすること。

イ 水抜作業中は、水位の下降に従い随時散水清掃を行い、傾斜板の堆積汚泥落下による傾斜板の破損及び乾燥による傾斜板への汚泥の固着を防ぐこと。

ウ 清掃による汚泥は、排泥管を通じて排水処理施設にて処理するため、排水水量の調節、排泥弁の開閉及び排泥促進管の操作は、監督員が行う。

エ 排泥促進管の噴射状況を確認し、噴射口が閉塞している箇所もしくは噴射の勢いが弱い箇所については、詰まりを解消すること。

オ 1池清掃が終了する毎に監督員による清掃完了確認を受けること。

(3) 覆がい開閉作業（6号沈でん池）

覆がいの開閉は、監督員が立会のうえ行うこと。また、覆がいの開閉は、必ず2名一組として平行に移動すること。

開けた状態で作業を行うときには、作業中に覆がい動いて事故につながらないように固定する等の措置を行った後、作業を実施すること。

また、作業後に覆がいを閉めた際には各覆がいの固定ピンが固定穴の位置に設置された状態にあることを必ず確認すること。

## 7 作業スケジュール

(1) 点検整備は原則として点検整備予定表にしたがって実施すること。

1 番目、2 番目以外の作業については、点検整備を行ううえで特別な事情が生じ予定変更が避けがたい場合は、監督員と協議し予定を変更できる。

\* 下記日程の間で1週に1池ずつ作業を行うものとする

点検整備予定表（参考） 令和6年 12月2日～ 3月14日

清掃順序	沈でん池番号	作業期間
1 番目	7 号沈でん池	12月2日～12月6日（固定）
2 番目	8 号沈でん池	12月16日～12月20日（固定）
3 番目	6 号沈でん池	1月20日～1月24日
4 番目	5 号沈でん池	1月27日～1月31日
5 番目	4 号沈でん池	2月3日～2月7日
6 番目	3 号沈でん池	2月17日～2月21日
予備日		2月25日～2月28日

## 8 その他

(1) 受注者は、本作業に取り掛かる前に監督員と作業手順、安全対策等について十分に協議を行うこと。

また、作業期間について、点検整備予定表を参考に監督員と事前協議を行うこと。

(2) 作業中は、安全ロープ、掲示板設置等での安全対策に万全を期すること。

なお、安全対策等の作業は沈でん池の休止後に着手すること。

(3) 作業に必要な用具等は、受注者が準備すること。

(4) 12月以降に点検整備を実施する沈でん池は、流出帯の遮光シートを作業終了後も冬季の雪害対策として開放のままにしておくこと。

(5) 作業完了後は、沈でん池内に清掃道具及び器具等の置忘れがないよう十分に確認すること。

(6) 検便検査についての検査項目は、赤痢菌、腸チフス菌及びパラチフス菌を対象とし、必要に応じてコレラ菌、赤痢アメーバ、サルモネラ菌等について行うものとする。

また、検便検査の頻度は、おおむね6ヶ月毎に行うこと。

受注者は、作業員名簿を作成し、記載作業員全員の検便検査結果報告書を提出すること。

(7) 日々、作業開始及び作業終了の連絡及び作業進捗状況を必ず監督員に報告すること。

## 建設副産物の適正処理について

### (1) 建設副産物の適正処理について

#### ア 建設廃棄物が発生する場合の対応

本作業の施工により搬出する建設廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を受けた施設へ搬出するものとする。

また、産業廃棄物が発生する場合は「京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例」及び「京都市産業廃棄物不適正処理対策要綱」を遵守し、マニフェストを発行して産業廃棄物が適正に処理されたことを確認すること。確認の詳細については、水道部施設課作業一般仕様書（委託）第24項「産業廃棄物」を参照のこと。

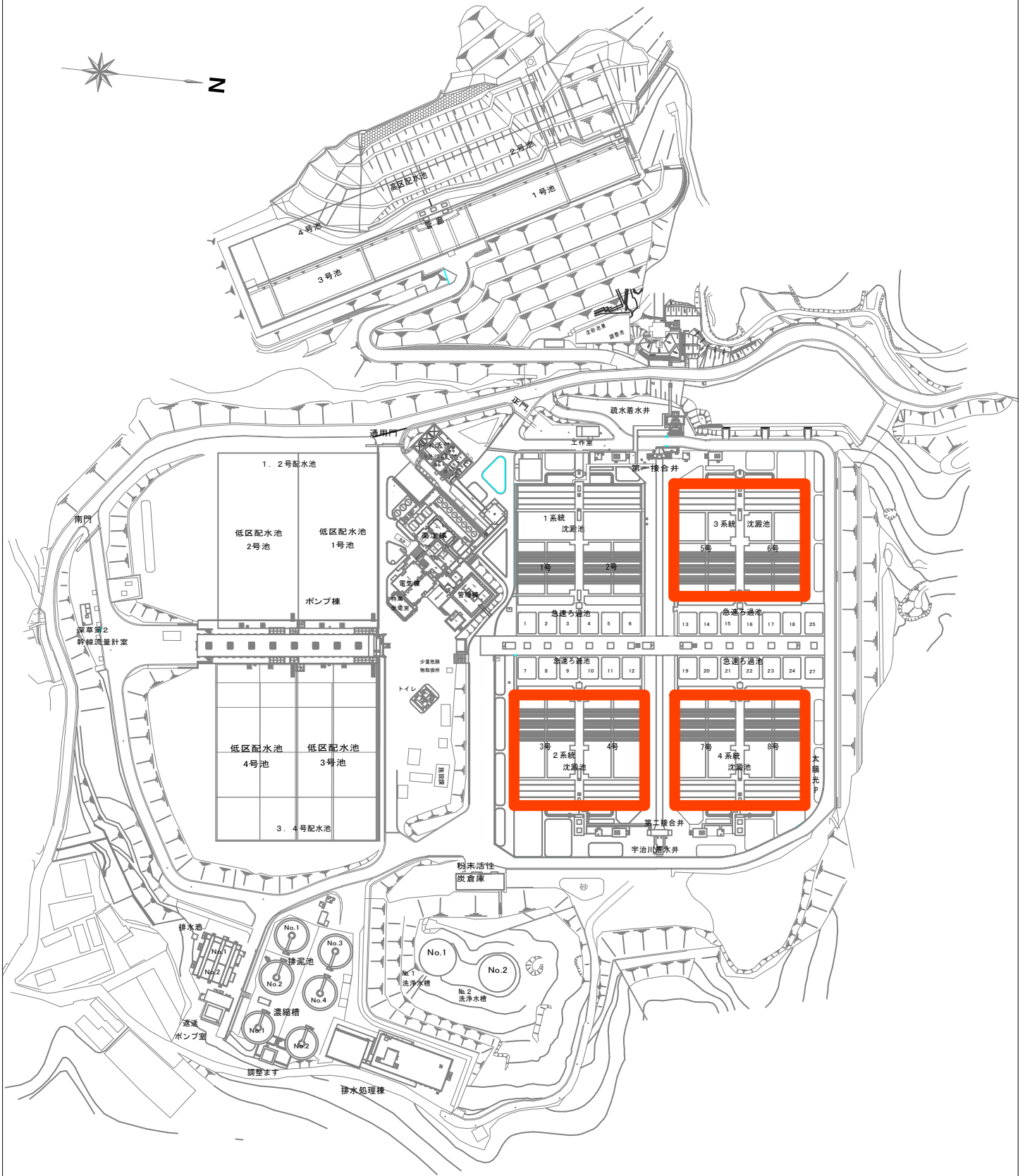
なお、次表は積算上の条件明示であることから施設を指定するものではなく、監督員の承諾を得て搬出先の変更を行うことができるが、原則として設計変更の対象としない。

#### 産業廃棄物

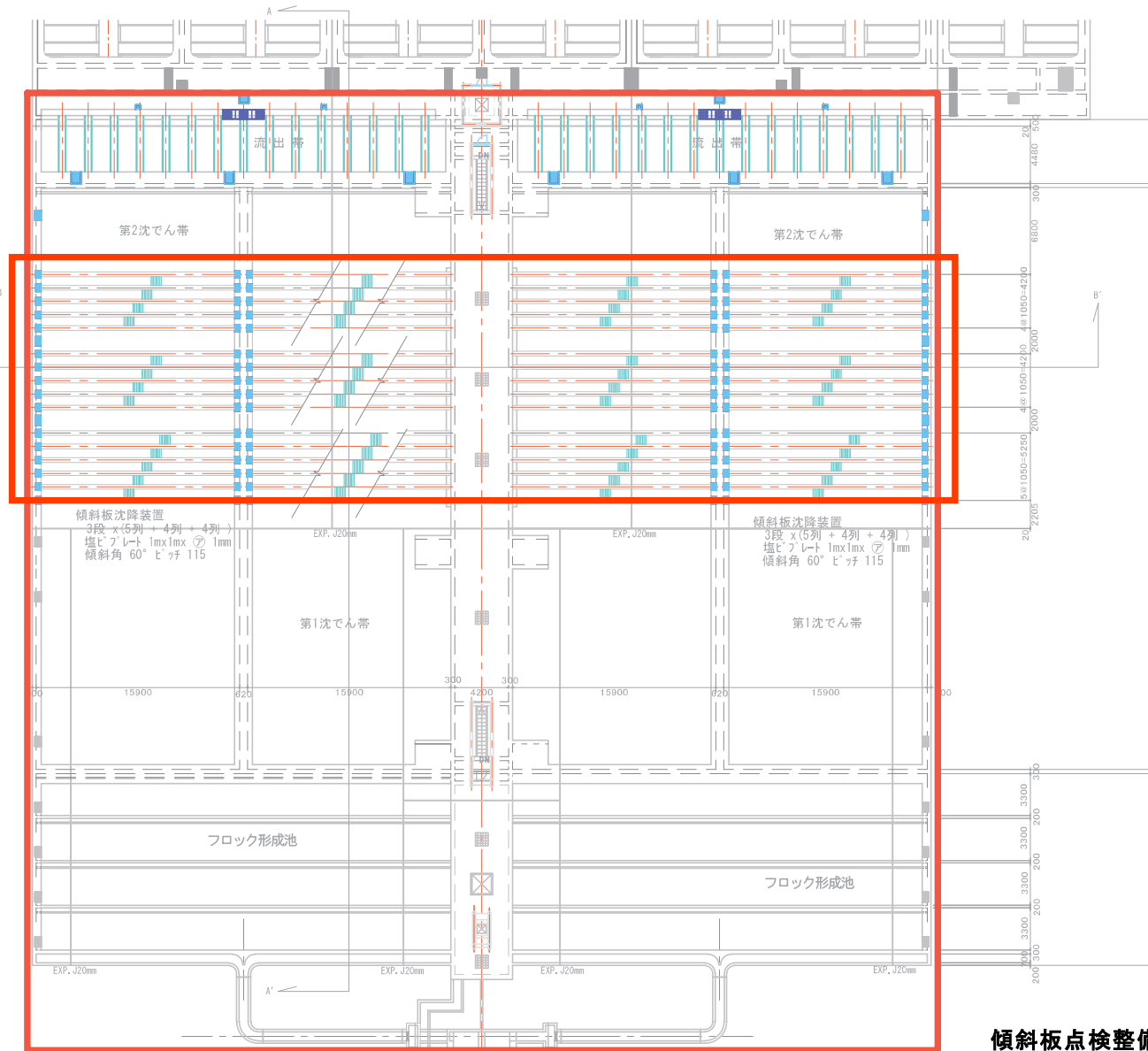
名称	受入場所	備 考
廃プラスチック類	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第14条第6項の許可を受けた施設 京都市南区東九条南松田町34番地 (株)Wood Life Company	設計運搬距離 L=6.0km

# 新山科浄水場 全体平面図

S=1/3000



傾斜板点検整備  
作業場所

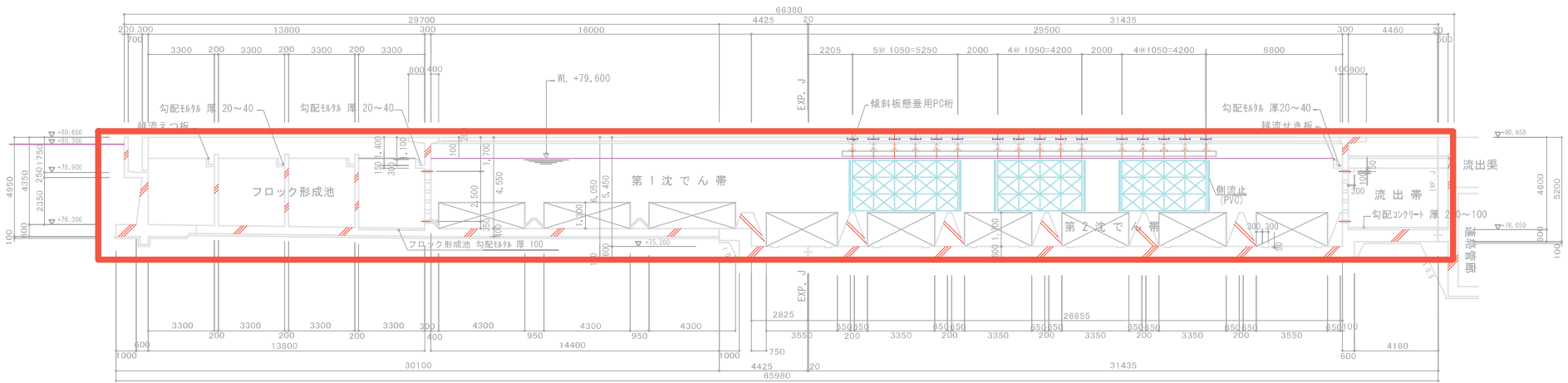


 作業範囲

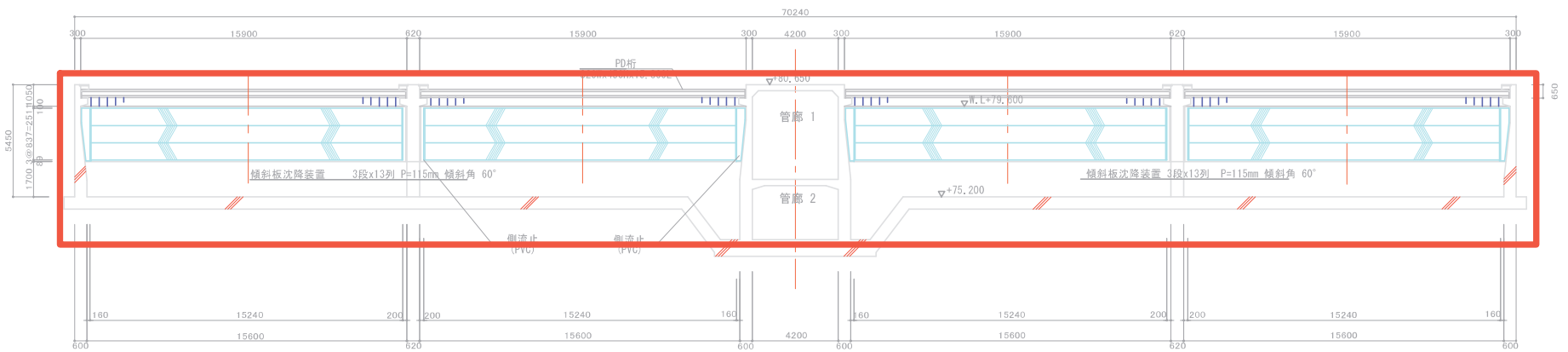
傾斜板点検整備 (新山科浄水場)  
標準沈でん池平面図 (1. 3. 4系)



A-A' 断面図

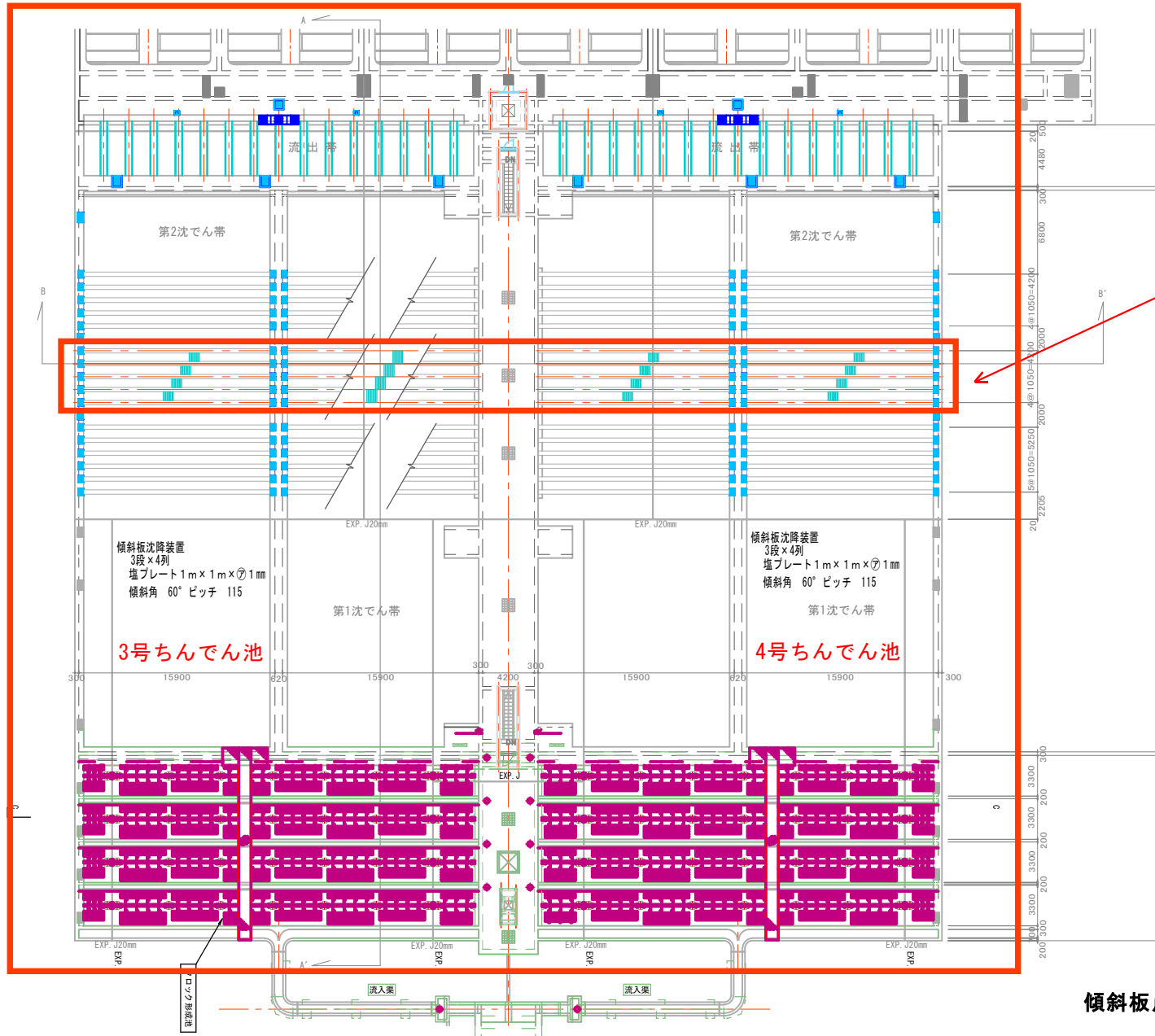


B-B' 断面図



作業範囲

傾斜板点検整備 (新山科浄水場)  
標準沈でん池断面図 (1. 3. 4系)



傾斜板設置箇所

作業範囲

傾斜板点検整備 (新山科浄水場)

2系統沈でん池 平面図

# 工事設計書

課長 所長	係長	照査	設計

年度	令和 6年度	設計年月	令和 年 月	工期	令和 7年 3月14日
事業名	_____				
工事名	傾斜板点検整備（新山科浄水場）				
工事場所	京都市山科区勸修寺丸山町 1 番地 新山科浄水場				
本工事費	円	工事価格	円	消費税等相当額	円

積算基準	土木
------	----

京都市 上下水道局

## 積算参考資料（間接費補正一覧）

単価使用年月	2024年7月	
歩掛適用年月	2024年7月	
基準適用年月	2024年7月	
単価地区	2601: I地区	
調整区分	単独工事	
共通仮設費（率計上）		
主たる工種	98:構造物工事（浄水場等）	
施工地域等補正	補正無し	1.0
週休2日補正	補正なし	1.00
現場管理費		
施工地域等補正	補正無し	1.0
工期日数（熱中症補正）	0日間	
真夏日日数	0日間	
補正係数	補正なし	
熱中症補正	自動設定	
週休2日補正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	補正しない	0.00%

# 設計内訳書（本01）

工事名	傾斜板点検整備（新山科浄水場）				事業区分 工事区分	水道工事 上水道工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要 国費／単費
上水道工事		式	1				
材料費		式	1				
傾斜板交換部材		式	1				
PVC製傾斜板	取付用付属品一式含む	枚	100				
傾斜板点検整備工		式	1				
傾斜板点検整備工		式	1				
傾斜板点検整備	清掃（水洗い）、外観検査、修理及び取替	m2	88,406				
破損傾斜板処理	運搬、処分含む	式	1				
沈でん池等清掃		m2	39,754				
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				

# 設計内訳書 (本01)

工事名	傾斜板点検整備 (新山科浄水場)				事業区分 工事区分	水道工事 上水道工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要 国費／単費
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				
工事費計		式	1				